

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. BLA1 V5 900
取付・取扱説明書

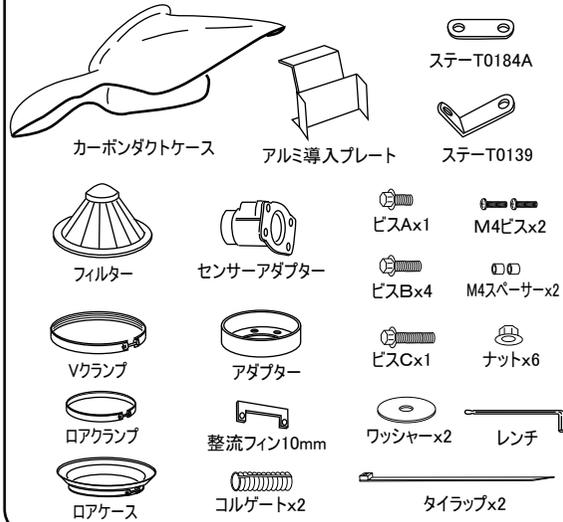
AutoExe
A New Driving Sensation
株式会社オートエクス
〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

この度は、オートエクス ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輦に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ず一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種：マツダスピードアクセラ(BL3FW)

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者の監督下で作業が可能なる方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は、過熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

PARTS LIST



ダクトケースにフィルター、Vクランプ、ロアケース、ロアクランプ、アダプターが組み込まれて梱包されています。

ラムエアインテークシステムの取付け



エアフロセンサーのカブラーを外し、エアークリーナーケースを外します。



フレッシュエアダクトとクリーナーケースを固定していたブラケットを取り外します。



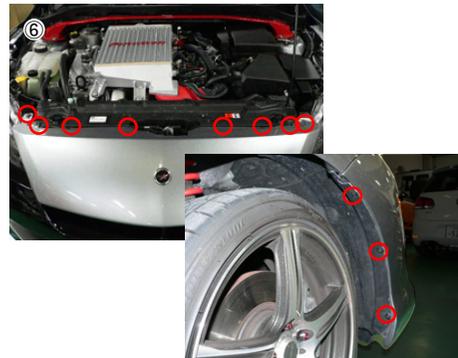
ホースを留めているクリップを外し、写真を参考にコルゲートチューブを被せませます。



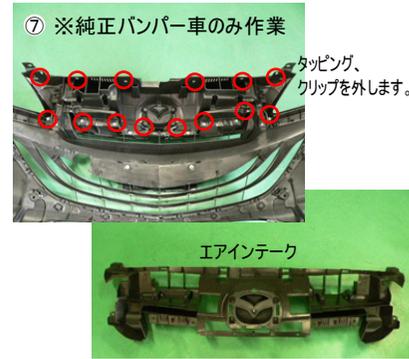
矢印部の配線と一緒にタイラップでまとめて奥の方に留めます。



導入プレートを取り付ける為、バンパーを外します。下側のタッピング、ボルトを外します。(純正バンパー車も同様に取外してください。)



バンパー上側のクリップ、ボルトを外します。インナーフェンダーのクリップを外します。



純正バンパー裏のエアインテークを取り外します。



脱脂して、両面テープで貼り付けます。



エアインテークからエアガイドを外し、エアガイドをバンパーに復元します。



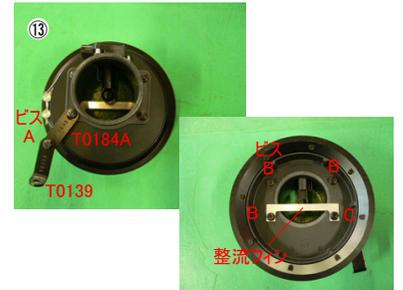
バンパーを車両に復元します。



丸印部にアルミ導入プレートを貼り付けます。



ノーマルケースからエアフロセンサーを外し、エアフロアダプターに取り付けます。



アダプターにセンサーアダプター、ステー、整流フィンを取り付けます。



ノーマルクリーナーケースを固定していたマウンティングラバーを取り外し、そこにステーを取り付けます。



カーボンダクトケースとフィルターをエンジンルーム内に配置します。



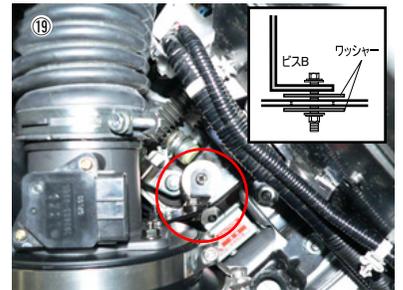
センサーアダプターエアホースに差し込みます。※センサーアダプターとエアホースの吻合は少しきつめとなりますので、ラバーグリスなどを少量塗布して取り付けてください。



ロアケースとカーボンダクトケースをVクランプで仮留めします。



ステーとバッテリーキャリアステーの穴位置を合わせます。



上下にワッシャーを挟み、ビスBとナットでステーを固定します。



エアフロセンサーのカブラーを取り付けます。



各部のクリアランスを確認しながら、各部を本締めして作業完了です。